

2021年8月3日

上海博報堂、アリババ傘下「Tモール（天猫）イノベーションセンター」の オフィシャル ISV 資格を取得

—Tモールの購買データを活用し、新商品開発をはじめとする中国市場での EC 事業を全面サポート—

博報堂グループの上海博報堂（本社、中国・上海市、社長：平野勝一）は、アリババグループ傘下にある天猫創新センター（Tモールイノベーションセンター、以下、TMIC）のオフィシャル ISV（Independent Software Vendors、以下 ISV）*¹資格を、取得したことをお知らせいたします。

これにより上海博報堂および博報堂グループは、TMIC が有する EC サイト「Tモール（天猫）」が有する膨大な購買データ及び外部調査データ／各種機能と博報堂グループが長年培ってきた生活者洞察力・実装力を掛け合わせることで、顧客にとってより魅力ある新商品の開発および EC 事業の実現を全面的にサポートいたします。

* 1：ISV：独立系ソフト開発会社と訳されるが、アリババの場合は“サービスパートナー”を指す。

近年、中国における小売総額に占める EC の割合は 50%に達しており*²、企業のマーケティングは EC を軸としたものへと移行しています。EC 市場における新商品数も年々増加傾向にあり、約 7.6 億のユーザーを抱える「Tモール」では、年間数千万件の新商品が登場しています。

* 2：経済産業省「電子商取引に関する市場調査」（2020年）

一方で、企業にとっては新商品開発に費やす時間が長期に渡るため、刻々と変化する中国生活者のニーズを的確かつ効率よく捉えきれないという課題があり、ヒット商品を生むことが難しい状況にあるとされています。

博報堂グループは、従来よりマーケティング変革に挑戦する企業の支援に注力してまいりましたが、今回の TMIC オフィシャル ISV 資格取得により、クライアント企業の中国 EC 事業進出・拡大に今まで以上に、貢献できるようになりました。上海博報堂の「TMIC 認定新商品企画士」資格を獲得したスペシャリストがチームを組むことから、生活者ニーズに合致した新商品の開発と、大幅な時間短縮が可能となります。

また、新商品開発にとどまらず、マーケティング戦略企画から、クリエイティブ、広告配信、商品ローンチ後 TIMC のマーケティングダッシュボードを使用した購買分析まで、日系／中国企業問わず、クライアント企業の中国市場における EC 事業をワンストップで支援いたします。

博報堂グループは、今後も生活者データを駆使しながら、フルファネルでクライアント企業のマーケティング DX を支援し、提供価値の最大化を図ってまいります。

【サービス内容に関するご相談・お問い合わせ】

上海博報堂：contact@hakuhodo.cn

【報道関係のお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室：寺村・大野 koho.mail@hakuhodo.co.jp 03-6441-6161

<補足資料>

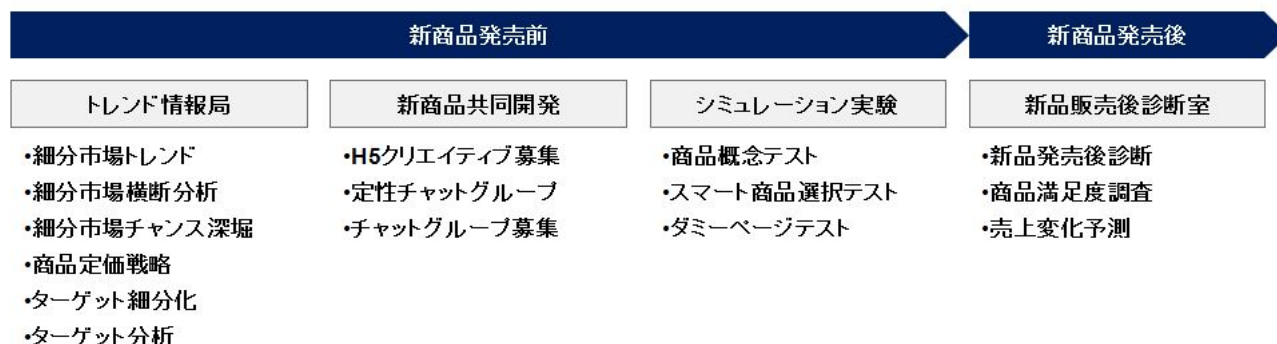
【博報堂グループが提供するワンストップ EC 事業サービス】

上海博報堂で新商品開発に必要な機能をフル統合
アリババのビッグデータ × 博報堂生活者洞察 × 実装力



【TMIC のオフィシャル ISV 資格取得により使用できる機能・ツール】

TMIC (Tmall Innovation Center) は T モールのビッグデータと各種調査を活用し、
新商品開発前の戦略から新商品販売後の観測までサポートするマーケティングダッシュボード。
市場チャンス洞察、ターゲットニーズ探索、価格戦略、広告配信改善などの機能がある。



【「TMIC 認定新商品企画士」認定証】



■アリババ、Tモール(天猫)について

アリババは1999年に中国で創業され、中国のEC市場のパイオニア企業。アリババのECサイトのうち、BtoC ECサイトである「Tモール(天猫)」は、2008年に開設され、中国最大級の流通総額を誇るオンラインショッピングモールです。「Tモール(天猫)」に出店するには中国に法人を構えることが条件で、中国の現地企業か、中国に法人を置く海外企業のみが出店できます。

■上海博報堂

上海博報堂は、1996年に設立された博報堂グループにおける中国初の総合広告会社です。創業25年にわたり、グループの理念である「パートナーシップ」と「生活者発想」を常に実践し、日系企業、中国企業に対して、総合マーケティングサービスを提供してきました。グローバルなネットワークを駆使して博報堂本社や海外のネットワークとともに、中国でのクライアント企業の戦略策定から実施まで、ワンストップで高品質なサービスを提供することができます。また、今年、DX事業部を新設し、EC事業、ビックデータ、CDP、CRM領域の業務も強化しており、生活者データを駆使しながら、フルファネルでクライアント企業のマーケティングDXを支援いたします。